

市役所広場

《広場の特徴》

- 川崎の東部から西部に従って緑が濃くなっていく地勢をイメージし、市街地を「舗装のエリア」、多摩川のはらっぱを「芝生のエリア」、西側の多摩丘陵を「植栽のエリア」で表現
- 川崎の情報を記した「歴史のタグ」「場所のタグ」を設置
- 旧本庁舎と第2庁舎にゆかりのある部材を再利用した舗装。部材の説明を記した「舗装のタグ」を設置
- 川崎の「7区の木」を植樹し、樹木の情報を記した「樹木のタグ」を設置



植栽のエリア

高低差を付けた植栽帯に「7区の木」を植えています

川崎区：長十郎梨 幸区：ハナミズキ
中原区：モモ 高津区：うめ
宮前区：サクラ 多摩区：ハナミズキ
麻生区：禅寺丸柿



芝生のエリア

天然芝と人工芝を混合したハイブリッド芝を採用しています



舗装のエリア

本庁舎と設えを合わせ一体の空間としています



歴史のタグ

川崎市100年の歴史を刻んでいます



場所のタグ

各区の名所などを紹介しています



舗装のタグ

旧庁舎にゆかりのある多様な部材等を紹介しています



公衆電話

自動車排出ガス測定局

ウッドデッキ

高低差をつけて、丘陵地の地形を表現しています。

シンボルツリー（センペルセコイア）

常緑針葉樹で、世界で最も大きな樹種の一つです。

切通し

起伏の一部を切り開いた通路を設けています。

テラゾーベンチ

旧本庁舎で使用した御影石を埋め込んでいます。

その他

広場の地中には雨水貯留槽を設置しています。
広場には災害時にも途絶しにくい本庁舎の電源を供給しています。



《広場概要》

名称：市役所広場

面積：約1,300㎡

主な設備：デジタルサイネージ、電源（100Vコンセント）、水栓、公衆電話

※電源及び水栓は災害発生時などに使用することを想定

《今後の活用について》

都市の中で緑のうおいを感じ憩える広場として、気軽に日常利用していただくと共に、市が主催・共催するものをはじめ、様々なイベントなどでも活用していきます。また、災害発生時には多目的防災スペースとしての活用も想定しています。

※芝生部分は定期的に養生が必要なため、毎年、春と秋に1か月程度閉鎖します。